

I 調査実施の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の生活環境への評価や満足度及び市政に関する意識・要望を把握し、新しい基本構想・計画の策定や今後の行政運営の基礎資料として活用するとともに、今後のまちづくりに反映させることを目的とします。

2. 調査設計

- (1) 調査地域 銚子市内全域
- (2) 調査対象 市内に居住する満 16 歳以上の男女
- (3) 標本数 2,500 サンプル
- (4) 標本抽出 住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収(無記名)
- (6) 調査期間 平成 28 年 12 月 12 日(月)～平成 28 年 12 月 26 日(月)
- (7) 調査実施主体 銚子市政策企画部企画課

3. 調査内容

- (1) 回答者の属性について
- (2) 生活環境について
- (3) 健康・福祉について
- (4) 子育て・教育について
- (5) まちづくり施策について
- (6) 市政に対する関心度について
- (7) 自由意見

4. 回収結果

標本数	有効回答数	回収率
2,500	1,250	50.0%

(1) 地区別回収結果

地区	抽出対象者		標本数		有効回答数	
	人数	比率	人数	比率	件数	回収率
地区1	10,498	21.3%	538	21.5%	269	50.0%
地区2	4,294	8.7%	214	8.6%	99	46.3%
地区3	4,703	9.5%	238	9.5%	126	52.9%
地区4	10,848	22.0%	549	22.0%	283	51.5%
地区5	9,208	18.7%	467	18.7%	217	46.5%
地区6	4,159	8.4%	211	8.4%	100	47.4%
地区7	3,449	7.0%	175	7.0%	69	39.4%
地区8	2,115	4.3%	108	4.3%	51	47.2%
地区不明					36	
合計	49,274	100.0%	2,500	100.0%	1,250	50.0%

(2) 年齢別回収結果

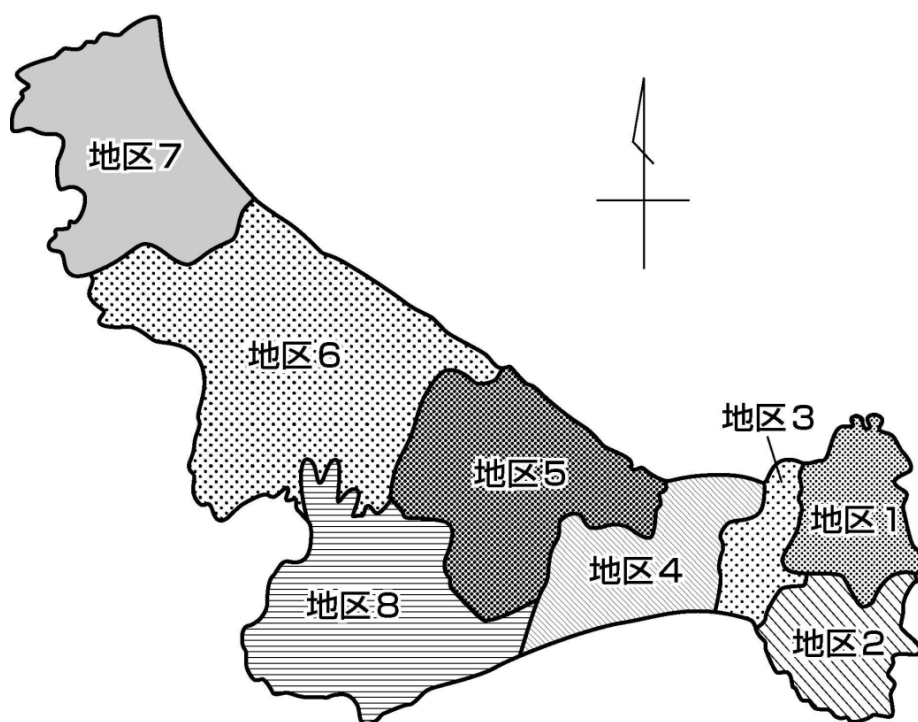
年齢区分	抽出対象者		標本数		有効回答数	
	人数	比率	人数	比率	件数	回収率
16～19歳	2,152	4.4%	122	4.9%	45	36.9%
20～24歳	2,618	5.3%	159	6.4%	57	35.8%
25～29歳	2,296	4.7%	123	4.9%	39	31.7%
30～34歳	2,596	5.3%	134	5.4%	44	32.8%
35～39歳	2,975	6.0%	161	6.4%	70	43.5%
40～44歳	3,606	7.3%	187	7.5%	82	43.9%
45～49歳	4,222	8.6%	218	8.7%	109	50.0%
50～54歳	4,203	8.5%	199	8.0%	96	48.2%
55～59歳	4,578	9.3%	200	8.0%	111	55.5%
60～64歳	5,176	10.5%	257	10.3%	150	58.4%
65～69歳	6,231	12.6%	309	12.4%	178	57.6%
70～74歳	4,429	9.0%	243	9.7%	151	62.1%
75歳以上	4,192	8.5%	188	7.5%	112	59.6%
年齢不明					6	
合計	49,274	100.0%	2,500	100.0%	1,250	50.0%

調査対象者は、平成28年10月1日現在の銚子市総人口を地区別、年齢別の比率で按分して抽出しました。

5. 地域区分

区分	地域
地区1	愛宕・清水・幸・港・仲・本・橋本・通・榊・海鹿島・弥生・植松・川口 笠上・黒生・明神・小畑新
地区2	高神東・高神西・小畑・犬若・犬吠埼・長崎・外川・外川台・君ヶ浜・潮見 天王台
地区3	陣屋・南・馬場・前宿・飯沼・浜・東・後飯・和田・田中・新地・竹・内浜 東小川・西小川・南小川・北小川・粟島・高神原・名洗
地区4	新生・中央・双葉・東芝・末広・妙見・台・西芝・栄・若宮・大橋・三軒 唐子・清川・八幡・春日・春日台・三崎・上野
地区5	松本・本城・長塚・今宮・松岸・松岸見晴台・垣根・垣根見晴台・四日市場 四日市場台・余山・柴崎・三宅・高野・赤塚
地区6	高田・芦崎・岡野台・三門・中島・正明寺・船木・野尻・小船木・塚本・忍 長山・小長・猿田・白石・茶畑
地区7	富川・森戸・笹本・豊里台・桜井・諸持・宮原
地区8	八木・小浜・親田・常世田・新

地域区分図



6. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が 100%にならない場合があります。
- (2) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問は、全ての比率を合計すると 100%にならない場合があります。
- (3) 質問の回答者数は(計:○)のように表記しました。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- (5) 分析軸に使用した属性項目は、未回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と異なる場合があります。

7. 標本誤差

標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、次式により算出されます。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差 N = 母集団数 (銚子市 16 歳以上人口)
n = 比率算出の基数 (回答者数) P = 回答比率 (%)

今回の調査結果の標本誤差は、次のようになります。

回答比率	標本誤差
10%または 90%	±1.6
20%または 80%	±2.1
30%または 70%	±2.5
40%または 60%	±2.6
50%	±2.7

例えば、回答者数が 1,250 人の設問である選択肢を選んだ人が 20%であった場合、その回答に対する誤差範囲は±2.1%以内となります。